

代表質問日程 6月4日(水)

令和7年6月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名 (会派名)	質 問 事 項
1	19	亀井崇幸 (光和)	1. 所信表明について 1) 市政経営の基本方針について 日光市の「新しい景色」とは、具体的に、現在のどのような景色を、どのように創造したいと考えているのか。 2) 7つの重要政策について 7つの重要政策において、具体的にどのような施策を考えているのか。 行財政改革について、現時点で、どのように収入を増やそうと考えているのか。また、職員の改革とはどのように進めていくのか。 3) 結びについて 議会との連携はどのように考えているのか。
2	5	齊藤正三 (市民フォーラム志向)	1. 所信表明について 1) 地域経済の発展に挑戦について 瀬高市長の「市政経営の基本方針」の中で人口減少、活力が薄れた地域経済を打開するには日光市の若い世代が意欲を持って活躍できる社会の構築を掲げ、地域経済の持続的発展のために特に女性や若い世代にとって、魅力的かつ将来性を感じられる仕事の選択肢を増やす。そのため新たな雇用を生み出す産業団地を計画的に造成し、多様な企業の誘致を図ることが重要としております。 粉川前市長はコロナ禍でなかなか誘致ができない中では、次の産業団地の造成は非常に困難だったと述べておりましたが、産業団地が完売後に新たな産業団地の造成に向け検討することとなり、新年度予算にも調査費を計上しました。 瀬高市長は前粉川市政が新たに始めた日光産業団地の林地を中心とした造成の検討をどうするのか、そして産業団地の計画的造成について伺います。 2) 行財政改革に挑戦について ①財政問題の市民への周知について 瀬高市長は、将来にわたり持続可能な市政経営を行うには、徹底した行財政改革を行い、既成概念にとらわれず改革を進めて行くとしております。 行財政改革を行うには、市民の行政サービス低下にも影響を与えることは避けられず市民の協力、理解が

代表質問日程 6月4日(水)

令和7年6月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名 (会派名)	質 問 事 項
2	5	齊 藤 正 三 (市民フォーラム志向)	不可欠となります。 粉川前市長は日光市の財政の危機感の市民への周知について、地域懇談会に出席すると財政の厳しさの話はあまり触れないでほしい、観光立市としてイメージがよくない、若い人が戻らないなど意見があり、意識して過度な危機感をあおるのは控えていましたが、厳しい状況はまぎれもない事実でありこれからは、客観的な数字をしっかりと示し自分の言葉として「健全な危機感」を市民の皆さんに伝えて行きたいと述べておりました。 瀬高市長は、日光市のおかれている危機的な財政問題を市民にどのように周知し理解を求めようとするのか、考えを伺います。 ②専門的な知識を身に付けた職員の育成について 行財政改革を実現していくため職員のスキルを高めていく事が不可欠であることから、専門的な知識を身に付けた職員を育成する、とありますが市長が描いている専門機関と専門人材とはどのようなことを想定しているのか、伺います。
3	11	斎 藤 久 幸 (グループ響)	1. 所信表明について 1)「地域経済の発展に挑戦」について 新たな雇用を生み出す産業団地を計画的に造成し、多様な企業を誘致することで幅広く働く場を確保し、若い世代が戻るまちづくりを目指すと述べていますが、市長が考える産業団地のビジョンをお伺いいたします。 2)「子育て・教育の整備に挑戦」について 若い世代の育成に向け、学校教育におけるデジタル化を推進するとしていますが、小中学校のGIGAスクールは、令和2年度からスタートし、定着化している状況において、デジタル化の推進を目指すにあたって市長のお考えをお伺いいたします。 3)「医療・福祉環境の整備に挑戦」について 健康寿命の延伸については、平成27年9月に「日光市健康づくり推進条例」が施行され取り組まれていますが、健康寿命の延伸を目指すにあたっての市長のお考えをお伺いいたします。

代 表 質 問 日 程 6月4日(水)

令和7年6月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名 (会派名)	質 問 事 項
3	11	斎 藤 久 幸 (グループ響)	4)「まちづくり・過疎対策に挑戦」について 特定地域づくり事業協同組合制度導入など新たな施策についての市長のお考えをお伺いいたします。 5)「行財政改革に挑戦」について 既成概念にとらわれない既存事業の見直しなどの改革を進めるとしてありますが、「文化会館の新設」と「廃校施設の活用」についての市長のお考えをお伺いいたします。 6)「防災・環境対策に挑戦」について 今後の奥日光における、ゼロカーボンシティの実現に向けての市長のお考えについてお伺いいたします。
4	20	嶋 田 正 法 (公明党)	1. 所信表明について 1)「地域経済の発展に挑戦」について 「新たな雇用を生み出す産業団地を計画的に造成するとともに、多様な企業を誘致することで幅広く働く場を確保し、若い世代が戻ってきたいと思えるまちづくりを目指してまいります。」とありますが、多様な企業を誘致する具体的な方法と、若い世代が戻ってきたいと思えるまちとは、具体的にどのようなまちなのかお考えをお伺いします。 2)「行財政改革に挑戦」について 「限られた財源の中で、市民サービスの向上を図り、将来にわたって持続可能な市政経営を行うためには、徹底した行財政改革が必要です。」とありますが、徹底した行財政改革を進めるうえで、凍結されている新文化会館整備事業についてのお考えをお伺いします。